

公的資産活用検討会（第6回）報告

日 時 平成31年4月13日（土）14：00～16：00

場 所 松が丘ビル 3階 中会議室（明石市松が丘2丁目3-7）

事務局 特定非営利活動法人 兵庫子ども支援団体

団地内の公的資産である公園を有効活用するとともに、子どもの生活環境を充実させ、コミュニティづくりを推進するため、公的資産活用検討会を開催しました。

3月30日開催のイベントを振り返って

- ① 今回のイベント開催に当たり、開催日の2週間前に、公園管理会の名前で神戸市建設局垂水建設事務所に行為の許可申請を出して、ぎりぎりですべて許可が取れた。明舞団地公園活用検討会の名前では、許可は取れなかった。
- ② テント設置の許可が下りなかったため、前日から並んで場所取りをした。
- ③ 子どもが参加するため行事保険に加入する必要があるが、その費用は公園管理会が負担することになった。（子どもは30組以上来ていた。）
- ④ 第5回検討会（平成31年2月13日開催）からイベント開催日までの1か月間、打ち合わせ会議を設定することなく、全てメールでやりとりをしたことが、円滑な実施に向けての反省点。
- ⑤ 結局、どこが運営主体となるのか不明確。今回については、直前に検討会のメンバーが集まる機会がなかったことが問題点。

今後のイベント開催に当たって

- ① イベント時に公園管理会をどう位置づけるのか。公園管理会と検討会の関係をどうするのか明確にする必要がある。
- ② 特定のNPOに対して許可は下りない。この場合、地域の人と一緒にやるイベントであることが必要。
- ③ まずは、イベントが開催できる場所を作ることが必要ではないか。
[課題] 1 東谷公園は草木が鬱蒼と茂って見通しが悪い場所がある。
2 上のトイレは男女兼用である。
3 花壇の手入れには人手が必要である。
4 公園には日陰を作ることも必要である。
- ④ 寄付や広告費を提供してくれる団体を見つけることが必要である。そのためには、実績が必要である。
- ⑤ 公園管理会としては、秋にイベントを開催する予定である。

今後の検討会の取組について

- ① 公園を活用した団地再生については、緑化にポイントを置くことも一つの手法ではないか。公園は地味だが、きっと活性化につながるはずである。
- ② この団地に足りないのは遊び。プレイパーク構想を実現して、子どもたちが遊べる場を提供したい。
- ③ 継続した地域主体のイベントとしては、子どもを相手に遊んでくれる人材が必要である。
- ④ 学生に参加してもらいたい。また、人材集めの一案として、中国人の方にも参加してもらえれば、多言語・多文化共生のモデルにもなるのではないか。
- ⑤ 「県民まちなみ緑化事業」は使えるのではないか。緑化の専門家の派遣もしてもらえる制度がある。
- ⑥ 検討会の名称は、地域の人に分かりにくいので変えるべき。会の名称は重要なので、メンバーが集まったときに考えるべきである。（次回までの宿題として、開催通知の時に願います。）

<次回開催日程> 5月11日（土）14：00～16：00